

■波多野精一 哲学者。徹底的象徴主義といわれる独自の宗教哲学体系を形成した。

はたのせいいち

西南戦争・ 1877 = 長野県松本で、波多野敬の次男に生まれる。

明治14年政変1881 = 4歳：

帝国大学始・ 1886 = 9歳：

初の対等条約1888 = 11歳：高等師範学校付属小学校高等科卒業。

帝国憲法発布1889 = 12歳：

郡司千島探検1893 = 16歳：高等師範学校尋常中学科を卒業し、第一高等中学校に入学。

日清戦争始・ 1894 = 17歳：

日清戦争終・ 1895 = 18歳：

白馬会・ 1896 = 19歳：卒業し、_東京帝国大学文科大学哲学科に入学。

Bushidou・ 1899 = 22歳：_同校を卒業し、引き続き同大学院でケーベルの指導のもとに近世哲学史を専攻。

ビ・アノ国産化・ 1900 = 23歳：東京専門学校(のちの早稲田大学)講師となり、哲学・哲学史を担当。_このころキリスト教に入信、

田中正造直訴1901 = 24歳：_*「西洋哲学史要」を刊行したが、これは日本における本格的な哲学史研究の先駆とされる名著。

教科書疑獄・ 1902 = 25歳：_植村正久から受洗。

日露戦争始・ 1904 = 27歳：_大学院修了論文として「スピノザ研究」(ドイツ文)を提出後、ドイツに留学し、ベルリン大学、

日露戦争終・ 1905 = 28歳：

満鉄発足・ 1906 = 29歳：_ハイデルベルク大学に学んで、帰国。

アララビ創刊・ 1908 = 31歳：「基督教の起源」を出版。

韓国併合・ 1910 = 33歳：_*「スピノザ研究」で文学博士号を受ける。

明治天皇没・ 1912 = 35歳：

大正政変・ 1913 = 36歳：

ロシア革命・ 1917 = 40歳：京都帝国大学教授となり、宗教学講座を担当。

大暴落・ 1920 = 43歳：_「宗教哲学の本質及其根本問題」を刊行、なお新カント派的批判主義の立場にあったが、

原敬首相暗殺1921 = 44歳：

水平社結成・ 1922 = 45歳：

_その後たゆまぬ思索を重ね、

満州事変・ 1931 = 54歳：

芥川直木賞始1935 = 58歳：_「宗教哲学」、

日中戦争始・ 1937 = 60歳：京都帝国大学を定年退官し、同大学名誉教授となる。

大政翼賛会・ 1940 = 63歳：_「宗教哲学序論」、

日米開戦・ 1941 = 64歳：

創価学会検挙1943 = 66歳：_*「時と永遠」の三部作によって、徹底的象徴主義といわれる独自の宗教哲学体系を形成した。

敗戦・ 1945 = 68歳：

新憲法施行・ 1947 = 70歳：玉川学園大学部教授となり、

三大事件・ 1949 = 72歳：同大学学長に推挙される。「波多野精一全集」全5巻を岩波書店より刊行。_日本学士院会員となったが、

朝鮮戦争始・ 1950 = 73歳：_直腸潰瘍のため、没した。

「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、